

1. 研究課題名：

アジア地域における持続可能な消費・生産パターン定着のための政策デザインと評価



2. 研究代表者氏名及び所属：

平尾 雅彦（東京大学大学院工学系研究科）

3. 研究実施期間：平成 27 年度

4. 研究の趣旨・概要

国連で合意されている持続可能な開発目標 (SDGs) を達成するためには、持続可能な消費・生産パターン (SCP) への転換が不可欠である。アジア各国での SCP 定着のためには国毎に異なる政治・経済・社会に即した方策が必要である。

本研究では、(1) 消費と生産の関連性、(2) 経済発展に伴う世帯消費の変化、(3) SCP への転換を促す政策、(4) SDGs を梃子にした政策、(5) SCP 評価のための指標、評価手法についての予備的研究を通し、課題の抽出、整理を行う。

本予備的研究とその後の本格研究を推進することにより、我が国及びアジア諸国の経済・社会のグリーン化を推し進め、持続可能社会への転換が推進されることから、環境政策の重点課題に資するものである。

5. 研究項目及び実施体制

- ① 持続可能な消費と生産の関連性の研究（東京大学）
- ② アジアにおける経済発展に伴う世帯消費の変化と持続可能なライフスタイルに関する研究（国立環境研究所）
- ③ アジア地域における持続可能な消費と生産に向けた転換を促す政策研究：家庭向け電力使用機器を事例とした予備的検討（地球環境戦略研究機関）
- ④ 持続可能な開発目標 (SDGs) を梃子にした持続可能な消費と生産への転換を図る諸方策とそれによる持続可能な社会実現に向けた政策研究（慶應義塾大学）

6. 研究のイメージ

アジア地域における持続可能な消費・生産パターン定着のための 政策デザインと評価

